

事業者:放課後等デイサービスあおば

児童数12名 回収数11名

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	1			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	3	・コロナの関係で交流できないのは、今はしょうがないと思う。	感染症の状況や利用者等の意向を踏まえた上で、必要に応じて対応していく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	1			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	5	2	・友達之母など、個人的に話しをする機会があるので、必要性は特に感じない。 ・まだ入ったばかりなので(わからない)。 ・特に支援をしてほしいという希望はない。時々学校で会ったときなど話しをする機会がある。	現在支援の実績は無いが、必要に応じて保護者同士の連携が図れるよう努めていく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2		・苦情は特にないのでわからない。	苦情の窓口担当は児発管が担当している。全職員が対応の体制を整えているので、何かあればいつでも相談してほしい。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2			
	14 個人情報に十分注意しているか	10				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8				
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	2		・まだ入ったばかりなので(わからない)。	・非常災害の発生を想定した訓練を子供たちにも参加してもらいながら実施している。今後も実施内容を連絡帳や配布物等で周知していく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	10			・行くのをとても楽しみにしている。 ・いつもお世話になっている。毎日楽しく通わせてもらっている。	今後も安心・安全に考慮しながら子ども達が楽しんでもらえるような活動や支援をしていきたい。
	18 事業所の支援に満足しているか	10	1		・細やかな気遣いにいつも感謝している。 ・生活介護をしてほしい。 ・お風呂と昼食があるのは、すごく助かる。	今後も既存のサービスだけでなく子どもや保護者等からの声をもとに、満足度を高めていけるよう努めていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業者: 放課後等デイサービスあおば白根事業

実施日: 令和3年3月1日

職員数8名 回収数8名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			適切なスペースが確保されている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1		適切に配置されている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	4			段差のある非常口にはスロープを設置するなど改善してきた。入口で一部狭い場所がある。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	6	1	1	毎月、事業所内で業務改善に向けた会議を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			サービス提供の見直し(入浴サービスや食事・おやつ提供など)を行う際は、保護者等の意向を把握するためアンケートを実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		1	ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	6		必要に応じて第三者による外部評価を行い、業務改善につなげていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		・外部研修やオンライン動画による研修、講師を招いての内部研修などを行っている。 ・研修等には積極的に参加するようにしている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			チームでケース会議を行い、各専門分野の意見を取り入れた上で、適切な計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		毎月活動プログラムの立案をチームでミーティングして決めている。	
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		コロナ禍で活動に制限がある中でも、様々な体験ができるように利用児から意向を聞き取りながら活動へ取り入れるなど工夫をし、休日や長期休暇で出来ること、平日で出来ることなど課題に応じて活動を設定している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		・朝礼等を行っている。 ・業務開始時と利用者の受け入れ前(PM)に打ち合わせを行っている。	長期休暇や休日利用の時は、打合せができないこともあるので、時間を確保する工夫が必要。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3	1	送迎や職員の出勤時間の関係で振り返りができない時は、ケアコラポ(PCサイトでのケア記録や申し送りの活用や、翌日の朝礼時に情報共有を行っている。	朝礼時に前日の振り返りや改善点などの共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1		・ケアコラポを活用している。	情報の共有化を図るために排泄・水分に関して記録の一覧表を作成するなど日々業務改善に取り組んでいる。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			各会議(白根会議、担当者会議、ケース会議など)で必要性を判断している。	相談員によるモニタリング(担当者会議)が無い利用児もいるので、電話連絡等で情報の共有を図っている。
関係機関 や保護者 との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	3			前年度は地域の施設に出向いて、利用者同士の交流はあったが、今年度はコロナ禍の影響で、地域交流の機会の提供がもてなかった。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	5	3			児発管の他に看護師、理学療法士、指導員が参加していた。今後はより多くの職員が参加できるように努めていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	1		連絡体制を整え、情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1		施設同士ではなく相談員を通して情報を得ている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	4			対象となる児童はいないが、必要に応じて情報提供ができるように努める。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	2		今後、専門機関と連携するにはどうしたらよいか検討していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	6		コロナ禍で交流する機会はもてなかった。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	4			協議会の施設見学を受けたことはあるが参加はしていない。今後協議会など外部との繋がりを情報を得ていけるようにしたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			細かく情報共有している。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	6			直接的な支援は無いが、ニーズがあれば検討したい。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に運営規程や支援内容、利用者負担等に関して説明を行っている。また、実費負担をいただく活動に関しては事前に説明を行い、了承を頂いている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			7		直接的な支援は無いが、ニーズがあれば検討したい。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		職員一同誠実に取り組んでいる。苦情・要望については受付窓口を設置しており、契約時に保護者へ説明を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			・定期的におおほ白根だよりを発行している。 ・毎月通信や活動予定表を配布している。 ・連絡帳で活動の様子がわかる写真を添付	
	35	個人情報に十分注意しているか	8				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	3	以前は敬老の日に地域交流を行っていたが、コロナ禍で出来ていない。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1		定期的に通達を出している。吐物処理の練習などマニュアルに沿って職員の研修を行っている。	
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			年2回の避難・防災訓練に加えて毎月小規模の訓練を行っている。	今後避難・防災に必要な物品を揃えられるようにしていく。	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2			外部の研修に行っていない職員は順番で行けると良い。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	2		対象となる児童はいないが、法人全体で身体拘束防止委員会を設置して、組織的に判断を行っている。		
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1				
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1		積極的にヒヤリハットをあげて再発防止に努めている。		